

A

はじめに

ナビゲーションシステムについて……………A-2

現在地の測位について……………A-2

現在地を測位するまでの時間……………A-2

現在地の測位ができない環境について……………A-2

現在地(自車)マークのずれについて……………A-3

クイックGPSについて……………A-3

自律航法(Gジャイロ)とマップマッチングについて……………A-3

車に吸盤スタンドを取り付ける……………A-4

ナビゲーションの取り付け位置について……………A-4

取り付け上のお願……………A-5

取り付ける前に……………A-5

取り付け角度・寸法について……………A-6

吸盤スタンドの取り付けかた……………A-6

吸盤スタンドの取り外しかた……………A-10

コードクリップの取り付け／取り外しかた……………A-11

動作の種類と走行中の制限について……………A-12

動作の種類について……………A-12

制限される主な機能……………A-12

走行／停車判定方法について……………A-13

電源について……………A-13

主電源スイッチについて……………A-13

シガーライターコード／ACアダプターで使用する……………A-14

内蔵電池で使用する……………A-15

本機の電源を切る……………A-16

SDメモリーカードについて……………A-17

SDメモリーカードの取り扱い……………A-17

SDメモリーカードを挿入する／取り出す……………A-18

ナビゲーションシステムについて

現在地の測位について

本機ではGPS、準天頂衛星システム「みちびき」、グロナスの3衛星を利用して現在地測位を行います。

●GPS(Global Positioning System)

アメリカ国防総省によって運用されている衛星測位システムです。

●準天頂衛星システム「みちびき」

宇宙航空研究開発機構(JAXA)によって打ち上げられた、日本の準天頂衛星システムの初号機です。

※現在、準天頂衛星システムは電波を受信できる時間帯が限られます。

●グロナス(GLONASS : Global Navigation Satellite System)

ロシア宇宙軍によって運用されている衛星測位システムです。

※衛星側の技術的トラブルや運営機関の事情により、精度が落ちたり電波を利用できなくなることがあります。

※本書では特にことわりのない限り、上記衛星を利用する機能や受信する電波を「GPS情報」「GPS衛星電波」など総称して表記しています。

現在地を測位するまでの時間

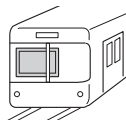
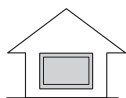
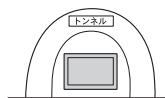
本機をお買い上げ後、初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。

見晴らしの良い場所をしばらく走行し、現在地周辺の地図が表示されていることを確認してください。

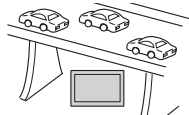
現在地の測位ができない環境について

次のような環境では、GPS衛星電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。

- トンネルの中
- 建物の中
- 樹木の間
- 自動車以外の乗り物の中



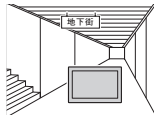
- 高速道路の下



- 高層ビルなどの間



- 地下街



- 曇り／雨などの悪天候



※同じ場所でも、次のような理由でGPS衛星の受信数が変動します。

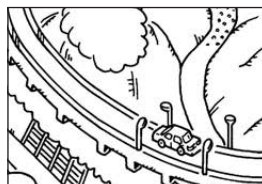
- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星電波の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の機器(ETC車載器、DSRC車載器、無線機、レーダー探知機など)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

現在地(自車)マークのずれについて

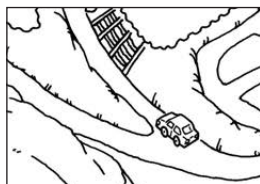
現在地(自車)マークの位置や進行方向は、下記のような走行条件などでずれることがあります。GPS衛星電波をさえぎる障害物がない見晴らしの良い場所を、しばらく走行すると現在地の位置が補正され、正常に使用することができます。

はじめに

- 直線や緩やかなカーブの長距離走行



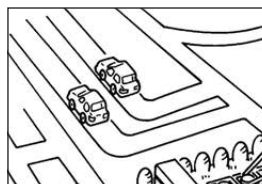
- 緩やかなY字路の走行



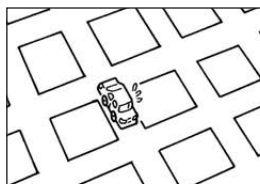
- S字の連続する道路の走行



- 近くに似た形状の道路がある所の走行



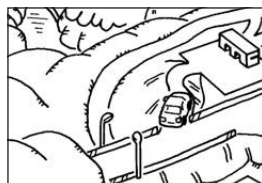
- 碁盤目状の道路の走行



- ループ橋などの走行



- 地図画面に表示されない道路、新設された道路、形状が変わった道路などの走行



お知らせ

- エンジンをかけてすぐ走行した場合も、現在地(自車)マークの向きがずれることがあります。
- 現在地(自車)マークの位置／方向を手動で修正することもできます。[F] G-13

クイックGPSについて

本機が過去に受信したGPS衛星データを用いて現在のGPS衛星位置を予測することにより、GPS衛星を捕捉しやすくし、起動時の捕捉までの時間も早めます。

前回のGPS衛星電波受信後から6日以上経過している場合には機能しません。また、前回GPS衛星電波を受信した状況と起動時の状況の違いによっては、機能しない場合があります。

自律航法(Gジャイロ)とマップマッチングについて

GPS衛星電波を受信しにくい高架下やトンネルなどでも、本機に搭載のジャイロセンサーと加速度センサーを利用した自律航法で現在地を補正します。現在地が道路以外(例えば川の中など)になった場合は、マップマッチングで誤差を補正し、近くの道路の上に現在地を表示します。

- 自律航法は車動作時のみ機能します。
- 自律航法は、GPS衛星電波を受信してしばらく走行し、センサー学習をしてから動作を始めます。
- 自律航法動作時でも、GPS衛星電波を受信できない状態が長く続くと、自車位置に誤差が生じる場合があります。

車に吸盤スタンドを取り付ける

付属の吸盤スタンドを車に取り付けます。

※作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご依頼ください。

(作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。)

ナビゲーションの取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、下部イラストのように、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。また、前面ガラスおよび側面ガラス(運転者席の左右)への取り付けは、保安基準第29条に不適合となりますので、絶対におやめください。

*印…道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席)

道路運送車両の保安基準 第44条(後写鏡等)

最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。

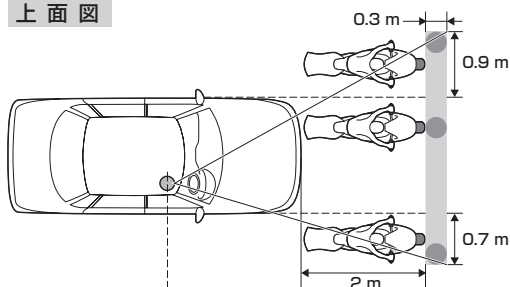
前方視界について

■基準概要

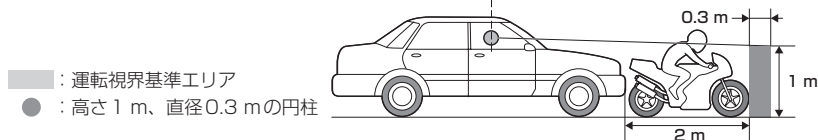
自動車の前方2 mにある高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したもの)を鏡等を用いず直接確認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。
左ハンドルの場合は、左右逆になります。

上面図



側面図



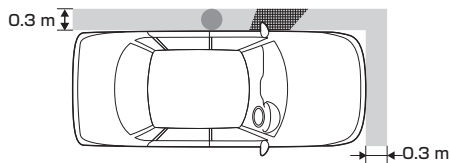
■ : 運転視界基準エリア
● : 高さ1 m、直径0.3 mの円柱

直前直左視界について

■基準概要

自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したもの)を直接に又は鏡、画像等により間接に視認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。
左ハンドルの場合は、左右逆になります。



■ : 運転視界基準エリア
● : 高さ1 m、直径0.3 mの円柱
■ : 適用外エリア
(Aピラーまたは室外後写鏡により
視界が遮られるエリア)

取り付け上のお願ひ

- 吸盤スタンドを取り付ける前に、取り付ける位置を決め、取り付け場所でナビゲーション本体がGPS衛星電波やワンセグを受信できるかどうか確認してください。
- 必ず指定の吸盤スタンドを使用してください。
- フロントガラスには取り付けないでください。
- 吸盤スタンドや取付用シートなどの貼り付け場所は必ず付属のクリーナーできれいに拭き、ほこりや油分などを取り除いて完全に乾燥させてから貼り付けてください。
※車によってはクリーナーでダッシュボードが変色する場合があります。あらかじめ目立たない部分で試してからご使用ください。変色した場合は、付属のクリーナーを使用せず、水にひたした布(毛羽立たない素材など)を固くしぼって拭いてください。
※ベンジンやシンナー類などは使用しないでください。
- 取付用シートなど粘着テープを使用する付属品は貼りなおさないでください。
- 運転前は、吸盤が確実に吸着していることを確認してください。

説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や、通常の使用目的から逸脱した使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

取り付ける前に

- エアバッグが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになる場所には取り付けないでください。
(取り付け位置の安全性を考慮し、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談の上、取り付け位置を決めてください。)
- 吸盤スタンドおよび取付用シートの貼り付け位置はダッシュボード上の凹凸のない平らな面をお選びください。また、吸盤スタンドをダッシュボード上に軽く置いたときに吸盤の外周がダッシュボードと均等に密着し、すき間がないことを確認してください。
- 下記のような場所には絶対に取り付けないでください。吸盤スタンドが外れ落下するおそれがあります。



取り付け面が密着しない曲面	傾いた面	不安定な面	垂直な面

取り付け角度・寸法について

ナビゲーション本体の取り付けには、下記の角度および取り付けスペースを参考にしてください。

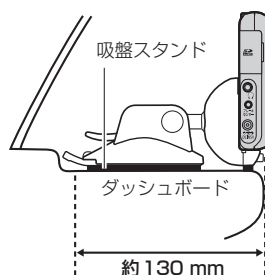
取り付け角度



※付属の吸盤スタンドを使用して、ナビゲーション本体をしっかりと固定してください。

※自律航法の誤差を少なくするため前後左右の角度は20°以内で調整してください。

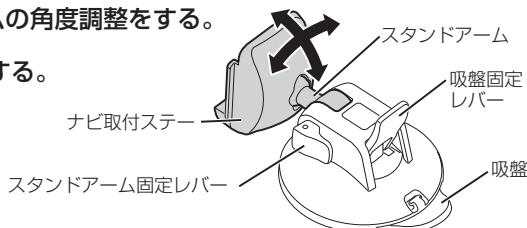
取り付けスペース



吸盤スタンドの取り付けかた

1 ナビ取付ステーとスタンドアームの角度調整をする。

① ナビ取付ステーの角度を調整する。



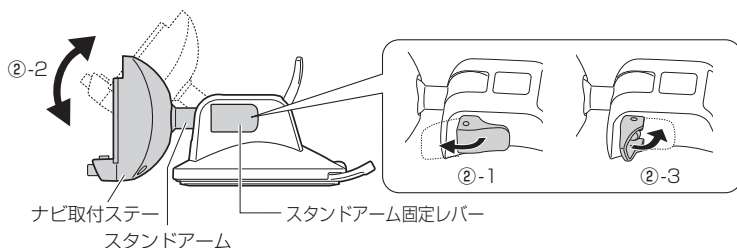
お願い

ナビ取付ステーはスタンドアームに対して自由な方向に動かせます。動きが固すぎる／固定具合が弱すぎる場合は、右記のように正面のねじをドライバーなどの工具で調整してください。

※ナビゲーション本体を取り付けて使用中、ゆるまな程度に動きが固めの状態にしてください。

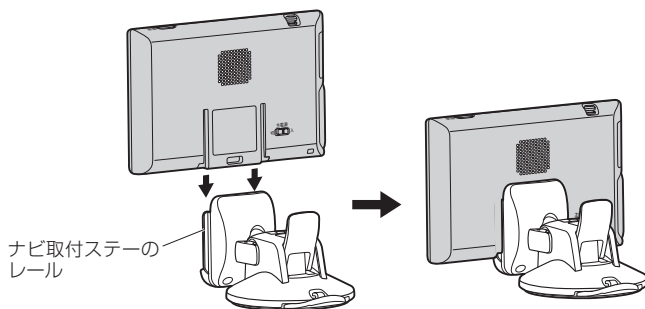


② スタンドアーム固定レバーをを起こして、スタンドアームとナビ取付ステーの上下位置を調整し、スタンドアーム固定レバーを倒して固定する。



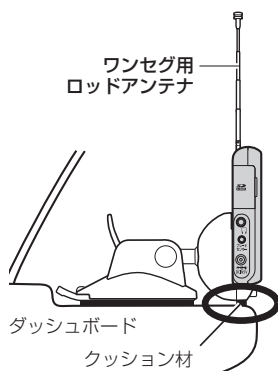
2 ナビ取付ステーにナビゲーション本体を取り付ける。

※ナビゲーション本体裏面のみぞをナビ取付ステーのレールに合わせて、“カチッ”と音がするまで入れてください。



3 ダッシュボード上の見やすいところに取り付ける位置を決める。

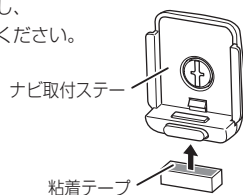
※取り付け位置が決まったら、ナビ取付ステーからいったんナビゲーション本体を取り外してください。取り外しかたについては、[図 A-10](#)をご覧ください。



お願い ワンセグ用ロッドアンテナをまっすぐ上にのばしてフロントガラスに当たらないことを確認してください。

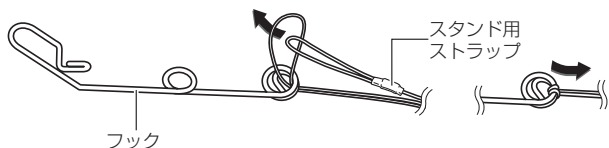
振動によるぐらつきやダッシュボードへの傷などを防ぐため、ナビ取付ステーの底面に付属のクッション材を必ず貼り付けて、クッション材がダッシュボードに当たるように調整してください。
※ダッシュボードに強く当てすぎると吸盤が外れる場合があります。

粘着テープのはくり紙をはがし、ナビ取付ステーに貼り付けてください。

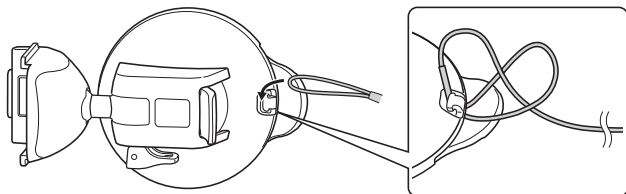


フックおよびスタンド用ストラップを取り付ける。

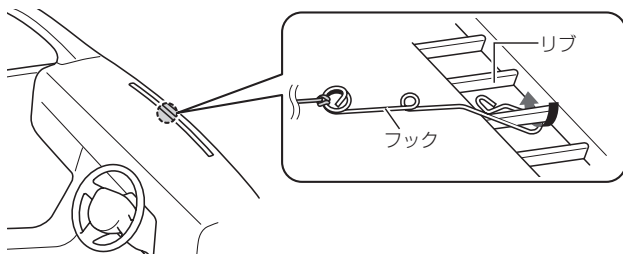
- ① フックにスタンド用ストラップを通し、結んで取り付ける。



- ② 吸盤スタンドにスタンド用ストラップを通し、結んで取り付ける。



- ③ フックを車のデフロスタ(フロントガラス下の送風口)のリップ部へ取り付ける。

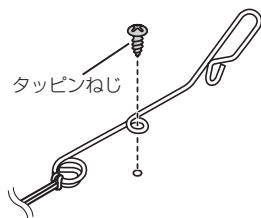


デフロスタへ取り付けできない場合は、付属のタッピンねじでフックを固定してください。

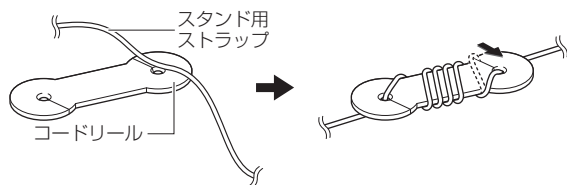
※ダッシュボードに穴があくことをご了承ください。

お願い

タッピンねじを取り付けるときに、ダッシュボードが割れたり、ダッシュボード内の配線などに干渉する可能性がありますので、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談ください。



- ④ スタンド用ストラップをコードリールに巻き付け、スタンド用ストラップが緩まないように長さを調整する。



5

取付用シートを貼り付ける。

※ダッシュボードの材質や表面状態によっては、吸盤の吸着力が十分得られないことがありますので、必ず付属の取付用シートを使用してください。

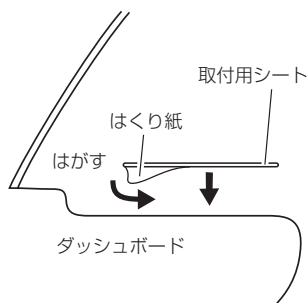
取付用シートを貼り付ける前に必ずお読みください。

- 取付用シートの貼り付け場所を付属のクリーナーできれいに拭いてください。
- 貼り付けは1回のみです。貼りなおしができないので慎重に取り付け場所を決めてください。
- 空気が入らないよう端から貼って、強く押し付けてください。
- 気温が低い(20℃以下)場合は粘着力が低下します。車内ヒーターで車内を暖めてから貼り付けてください。
- 貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上、取付用シートをみの状態で放置してください。

① 取り付け位置を付属のクリーナーできれいに拭き取り、完全に乾燥させる。

② 取付用シート裏面のはくり紙をはがし、
吸盤スタンドの取り付け位置に貼り付ける。

※取付用シートが浮かないよう粘着面全体を上からしっかりと押さえ、取付用シートの周囲にすき間がないように貼り付けてください。
粘着面全体が貼り付けされていない場合は、振動などで脱落するおそれがあります。

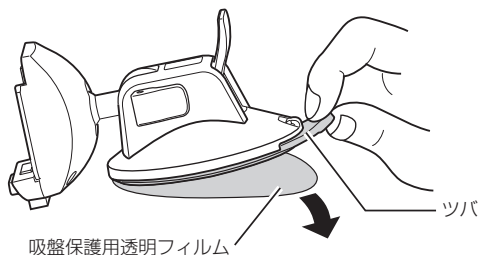


6

ダッシュボードに吸盤スタンドを取り付ける。

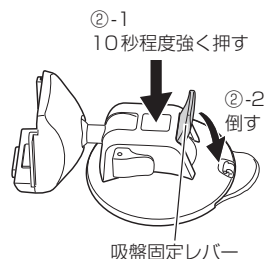
① 吸盤面に付いている吸盤保護用透明フィルムをはがす。

※すでに吸盤保護用透明フィルムをはがし、吸盤面に吸盤スタンド保護用シートを貼り付けている場合は、吸盤後方のツバ部分を持ち、ゆっくりと吸盤スタンド保護用シートをはがしてください。



② 吸盤をダッシュボードに10秒程度強く押しながら、
吸盤固定レバーを倒し吸着させる。

※しっかりと吸着できているか、吸着スタンドに力を加えて確認してください。



お願い

- 吸着力を強くするため、10秒程度押し続けてください。
- 取付用シートを使用する場合は、吸盤面がはみ出さないようにしてください。
- 吸盤面が汚れると吸着力が低下しますので、定期的な清掃をおすすめします。毛羽立たない柔らかい布かスポンジに少量の水をふくませ、吸盤面の汚れを取り除くように拭き、完全に乾燥させてからご使用ください。
※水以外では拭かないでください。
- 吸盤スタンドを清掃するなどしても吸着力が弱いと感じる場合は、取り付ける位置を変更するか、取付用シートを貼り付けてから吸盤スタンドを取り付けてください。
[P A-9 手順 5]
- 光沢面に吸盤スタンドを貼り付けると、吸着力が増してはがしにくくなる場合があります。光沢面に貼り付ける場合は、取付用シートをご使用ください。
[P A-9 手順 5]

7 ナビゲーション本体を取り付ける。

※ [P A-7 手順 2] を参考に、ナビゲーション本体をナビ取付ステーに取り付けてください。

※吸盤スタンドのスタンドアーム固定レバーはしっかり倒して
ください。固定が弱いと、車の振動などでレバーがゆる
み、ナビゲーション本体の取り付け角度が変わるおそれ
があります。

お願い

吸盤スタンド各部のゆるみ、吸盤が外れそうにな
っていないかなど、定期的に点検してください。



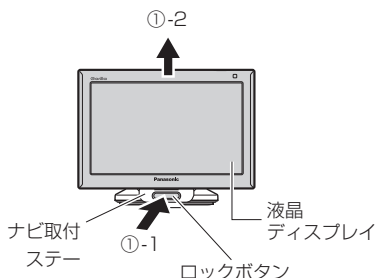
吸盤スタンドの取り外しかた

■ ナビゲーション本体をナビ取付ステーから外す場合

- ① ナビ取付ステーのロックボタンを押しながら
ナビゲーション本体を上向きに
スライドさせる。

お願い

液晶ディスプレイを持って、ナビゲーション本体
を取り付けたり、取り外したりしないでください。

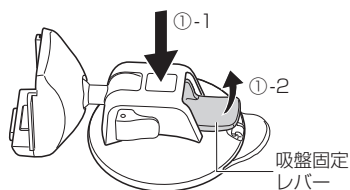


■ 吸盤スタンドをダッシュボードから外す場合

※吸盤スタンドを外す前に、吸盤スタンド後方に取り付けているスタンド用ストラップを外してください。

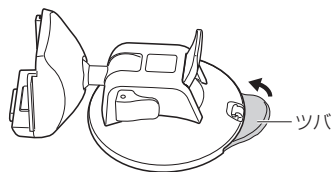
- ① 吸盤スタンドを押したまま吸盤固定レバーを持ち上げる。

お願い 吸盤固定レバーを持ち上げるときに、指をはさまないようにご注意ください。



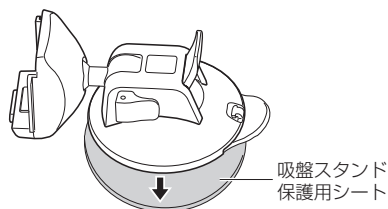
- ② 吸盤後方のツバ部分を持って吸盤スタンドを持ち上げゆっくりとはがす。

※吸盤スタンドを取り外すときに、使用環境により吸着力が強くなる場合がありますので、吸盤スタンドのツバをゆっくり持ち上げて取り外してください。



- ③ 吸盤スタンドを取り外した後、吸盤スタンド保護用シートに貼り付ける。

※取り外した後は吸盤面の汚れを取り除き、付属の吸盤スタンド保護用シートを取り付けて保管してください。



コードクリップの取り付け／取り外しかた

コードを束ねるときに付属のコードクリップを使用して束ねてください。

■ 取り付ける場合

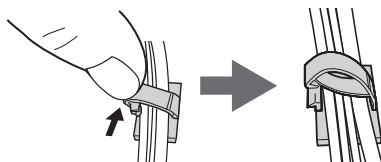
- ① コードをコードクリップに入れ、“カチッ”と音がするまで押してロックする。

※ロック後、コードクリップ裏面のはくり紙をはがし、貼り付けてください。



■ 取り外す場合

- ① 下記イラストのようにスライドさせて、ロックを解除する。



動作の種類と走行中の制限について

動作の種類について

本機では電源の種類や、付属の吸盤スタンドの取り付け状態によって、車動作・家庭動作・電池動作と変わります。

電源の種類 付属の吸盤スタンド	シガーライターコード	ACアダプター (別売)	内蔵電池
装着時	車動作*	車動作*	電池動作
未装着時	家庭動作	家庭動作	電池動作

*印…車動作中に付属の吸盤スタンドを取り外しても家庭動作に変わりません。

家庭動作にするには、付属の吸盤スタンドを取り外した状態で本機の電源を切り、再度電源を入れてください。

制限される主な機能

動作の種類(車動作・家庭動作・電池動作)や走行/停車判定によって、下記のように機能が制限されます。

動作の種類	車動作		家庭動作	電池動作* ¹
	停車中	走行中		
ヘッドホン接続時の音声出力	○	×	○	○* ²
各メニュー操作	○	×	○	○* ²
地図スクロール	○	×	○	○* ²
道幅3m未満の細街路表示	○	×	○* ³	○* ³
自律航法(Gジャイロ)	○	○	×	×
マップマッチング	○	○	○	○
音声案内	○	○	○	○
画面消し	×	×	×	○
ecoドライブの評価	○	○	×	×
ガイドブック地点	○	×	○	○* ²
車両センサーの確認	○	○	×	×
セキュリティコードの設定	○	×	×	×
地図更新/ アプリケーションバージョンアップ	○	×	○	×
テレビ(ワンセグ)視聴	○	×	○	○* ²
音楽再生	○	○	○	○
動画再生	○	×	○	○* ²
画像再生(スライドショー)	○	×	○	○* ²
Gアプリの操作	○	×	○	○
Myストッカーの操作	○	×	○	○* ²

○印…制限しない ×印…制限する

* 1 印…電池残量が少なくなると操作できない場合があります。

* 2 印…吸盤スタンドを装着して走行した場合は、車動作(走行中)と同等の制限になります。

* 3 印…走行した場合は、車動作(走行中)と同等の制限になります。

* 4 印…走行中は動画一覧画面から動画ファイルを選択することができません。

走行／停車判定方法について

本機を車動作または吸盤スタンドを装着した電池動作で使用する場合、安全上の配慮から走行中はテレビ(ワンセグ)／動画などの表示や一部の操作を行うことができません。

本機では下記いずれかの方法で走行／停車判定を行います。

判定方法	内 容
車速感应タイプ走行規制による判定	本機が受信するGPS衛星電波などで、車の速度を感知して走行／停車判定を行います。
別売品に同梱されている パーキングブレーキ接続ケーブルによる判定*	別売品に同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブルを使用している場合は、パーキングブレーキの操作による走行／停車判定を行います。

* 印…別売品に同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブルを使用している場合は、パーキングブレーキ接続ケーブルによる判定を優先します。

お知らせ

- 車速感应タイプ走行規制で走行／停車判定を行う場合、GPS未受信時、低速走行時、発進と停止を繰り返したときなどは、正しく判定できない場合があります。
- 別売品に同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブルを使用して走行／停車判定を行う場合、停車中でも車のパーキングブレーキをかけないと、本機は“停車中”と認識しません。

電源について

主電源スイッチについて

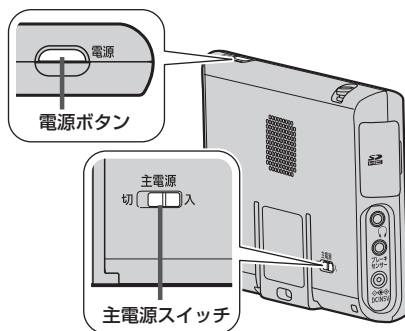
本機には主電源スイッチと電源ボタン “ (電源)” があります。

お買い上げ時は、主電源スイッチが「切」になっていますので、まず、主電源スイッチを「入」にして本機の電源を入れてください。

※日常のご使用では主電源スイッチは「入」のまま、 (電源)で電源の切／入を操作してください。

※長時間使用しないときは、主電源スイッチを「切」にしてください。

※主電源スイッチが「切」のときは充電できません。
充電する場合は「入」にしてください。

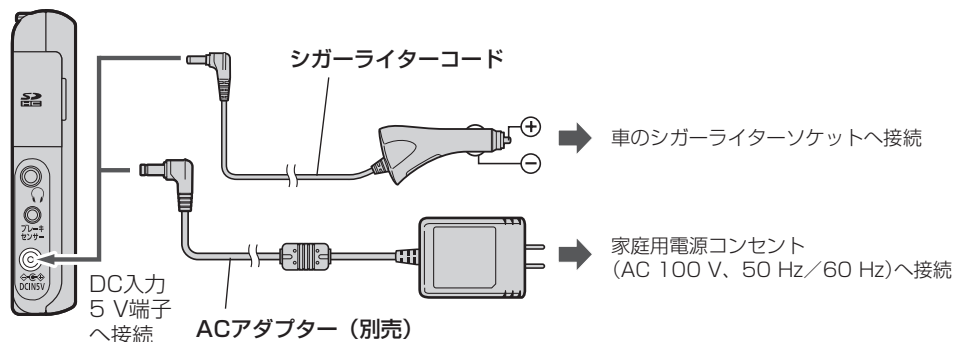


シガーライターコード／ACアダプターで使用する

1 シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を本機に接続する。

※プラグはDC入力5 V端子の奥までしっかり差し込んでください。

※車で使用する場合は、付属の吸盤スタンドに取り付けて使用してください。[P A-4]



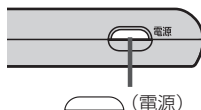
お願い

- シガーライターコードは、車に装備されているシガーライターソケットへ確実に差し込んでください。市販の増設用シガーライターソケットなどに差し込むと、外れたり正常に動作しない場合があります。
- シガーライターコードが外れそうになっていないかなど定期的に確認してください。ゆるみがあると接触不良で正常に動作しない場合があります。
- エンジンを切ってもシガーライターの電源が切れない車の場合は、エンジンを切ったあとに、必ずシガーライターソケットからシガーライターコードを外してください。長時間放置するとバッテリーがあがるおそれがあります。
- シガーライターコードを使用しないときは、シガーライターソケットから外してください。本機が接続されていない状態でも、シガーライターソケットに接続したままにしておくと電流が消費されます。

2 (電源)を約2秒押す。

：“ピッ”という音が鳴り、本機の電源が入ります。

※セキュリティコードを設定している場合は、セキュリティコードを入力し、**決定**をタッチしてください。[P J-4]



3 警告画面の注意事項を確認して、

確認をタッチする。

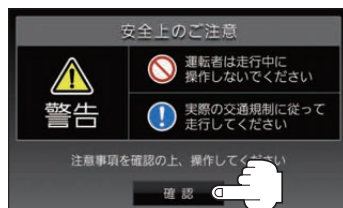
：現在地の地図画面が表示されます。

※メッセージが表示された場合は、メッセージを確認し**閉じる**または**OK**をタッチしてください。

※各AVモードの再生画面が表示された場合は、**現在地**をタッチすると、現在地の地図画面が表示されます。

※約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。

警告画面



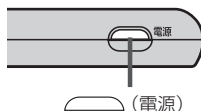
内蔵電池で使用する

はじめに

- 1 シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続していない状態で (電源) を約2秒押す。

：“ピッ”という音が鳴り、本機の電源が入ります。

※セキュリティコードを設定している場合は、セキュリティコードを入力し、**決定** をタッチしてください。[P] J-4



- 2 警告画面の注意事項を確認して、**確認** をタッチする。

[P] A-14 手順 3

お知らせ

- 内蔵電池の残量が少ないと、電源が入らない場合があります。充電してご使用ください。
- 内蔵電池保護のため、本機の内部温度が高温になると電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。正常温度に戻ってから再度電源を入れなおしてください。

内蔵電池の充電について

シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続して充電してください。

※充電するときは (電源) を約2秒押して電源を切ってください。満充電できない場合があります。

※主電源スイッチが「切」のときは充電できません。[P] A-13

お願い

- ACアダプター(別売)を使用する場合、充電が終了したらコンセントから外してください。
- 内蔵電池の残量がなくなると、自転車位置情報(GPS衛星データ)が保持されません。内蔵電池の充電は定期的に行ってください。

充電ランプ／電池マーク

※充電ランプの位置については、[P] B-2を参考にしてください。

充電状態	充電ランプ
満充電	消灯
充電中	点灯(橙色)

※電池動作時に (電源) を短押し(約1秒以内)し、画面消しにしたときは充電ランプが緑色に点灯します。

電池マーク

内蔵電池使用時に電池残量が表示されます。

残量：多	(緑色)
残量：中	(緑色)
残量：少	(赤色)
残量：なし	(灰色)

※低温下では、表示される電池残量が一時的に少なくなることがありますが、これは電池の特性によるものですので故障ではありません。



充電時間と連続使用可能時間

下記の時間はあくまでも目安です。数値を保証するものではありません。

※使用環境、使用する機能や設定により使用可能時間が短くなる場合があります。

充電時間 本機の電源を切った状態で、空の内蔵電池を充電した場合 (周囲温度 +25℃)	約2時間20分
連続使用可能時間 本機を連続して使用した場合(満充電、周囲温度 +25℃) ※テレビ(ワンセグ)受信時で音量/画面の明るさを中間にした場合	約2時間00分

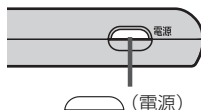
お知らせ

- 充電は必ず+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 使用環境により電池残量が正しく表示しない場合があります。
※低温下での電池の電圧低下があるため、電池残量に関わらず電源が切れる場合があります。
- 周囲の温度が高温のときは、自動的に放電され、使用時間が短くなる場合や電源が入らない場合があります。
- 累積の使用時間により内蔵電池は少しずつ劣化します。そのため使用可能時間が短くなったり、充電時間が長くなったりすることがあります。劣化による修理交換は保証期間内であっても保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

本機の電源を切る

1 (電源)を約2秒押す。

：“ピッ”という音が鳴り、本機の電源が切れます。



お知らせ

- 車動作時に車のエンジンを切るなどしてシガーライターコードまたはACアダプター(別売)からの通電がなくなると、自動的に本機の電源が切れ、再び通電が始まると本機の電源が入ります。
※家庭動作時の場合は、本機の電源が切れずに電池動作に切り換わります。[図] A-12
- 本機の電源を切ってすぐに (電源)を約2秒押しても電源は入りません。
少し待ってから電源を入れてください。

SDメモリーカードについて

本機では、SDメモリーカードを使用して下記などができます。

- 当社ユーザーコミュニティサイト「ナビcafe」の「おでかけ旅ガイド」からダウンロードした、おでかけスポット・おでかけプランの利用
- 本機で登録している登録地点情報のバックアップ／リストア、エクスポート／インポート
- まっぷるコード(MGコード)更新データの利用
- パソコンを使ってSDメモリーカードに保存した音楽ファイル(MP3/WMA)、動画ファイル(MP4)、画像ファイル(JPEG)の再生

■ 本機は、SD規格に準拠したSDHCメモリーカード(32 GB以下)*とSDメモリーカード(2 GB以下)に対応しています。それ以外のSDメモリーカードは使用できません。

microSDHCメモリーカード*、miniSD／microSDメモリーカードも使用できます。

*印…SDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。

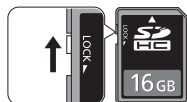
■ SDメモリーカードは、パソコンでFAT16またはFAT32でフォーマット(初期化)してから使用してください。

お知らせ

- 本書では特にことわりのない限り、上記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と総称して表記しています。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

SDメモリーカードの取り扱い

- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードでデータを読み書きしているときに、SDメモリーカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 長時間使用すると、SDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次のことをお守りください。
 - ・ 本機から取り出したら、必ずケースに収納する
 - ・ 裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚したりしない
 - ・ 貼られているラベルをはがさない
 - ・ シールやラベルを重ねて貼り付けない
 - ・ 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない



お願い

microSDメモリーカードなどを使用する場合は、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごとに取り出してください。

SDメモリーカードを挿入する／取り出す

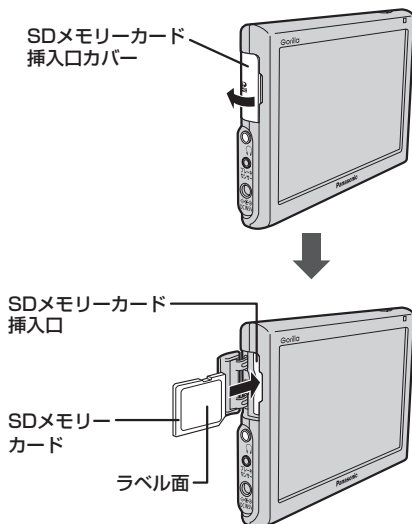
※SDメモリーカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

挿入する

- 1 SDメモリーカード挿入口カバーを開け、SDメモリーカード挿入口にSDメモリーカードを挿入する。

※矢印の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

※SDメモリーカードを挿入した後は、SDメモリーカード挿入口カバーを“カチッ”と音がするまで押して閉めてください。



取り出す

- 1 SDメモリーカード挿入口カバーを開け、SDメモリーカードを1回押してから取り出す。

※SDメモリーカードを取り出した後は、SDメモリーカード挿入口カバーを“カチッ”と音がするまで押して閉めてください。

